

LEGACY MAP

選手村の変遷



2016年 工事開始直後の様子

(2016年12月撮影)



2018年 工事中の様子

(2018年12月撮影)



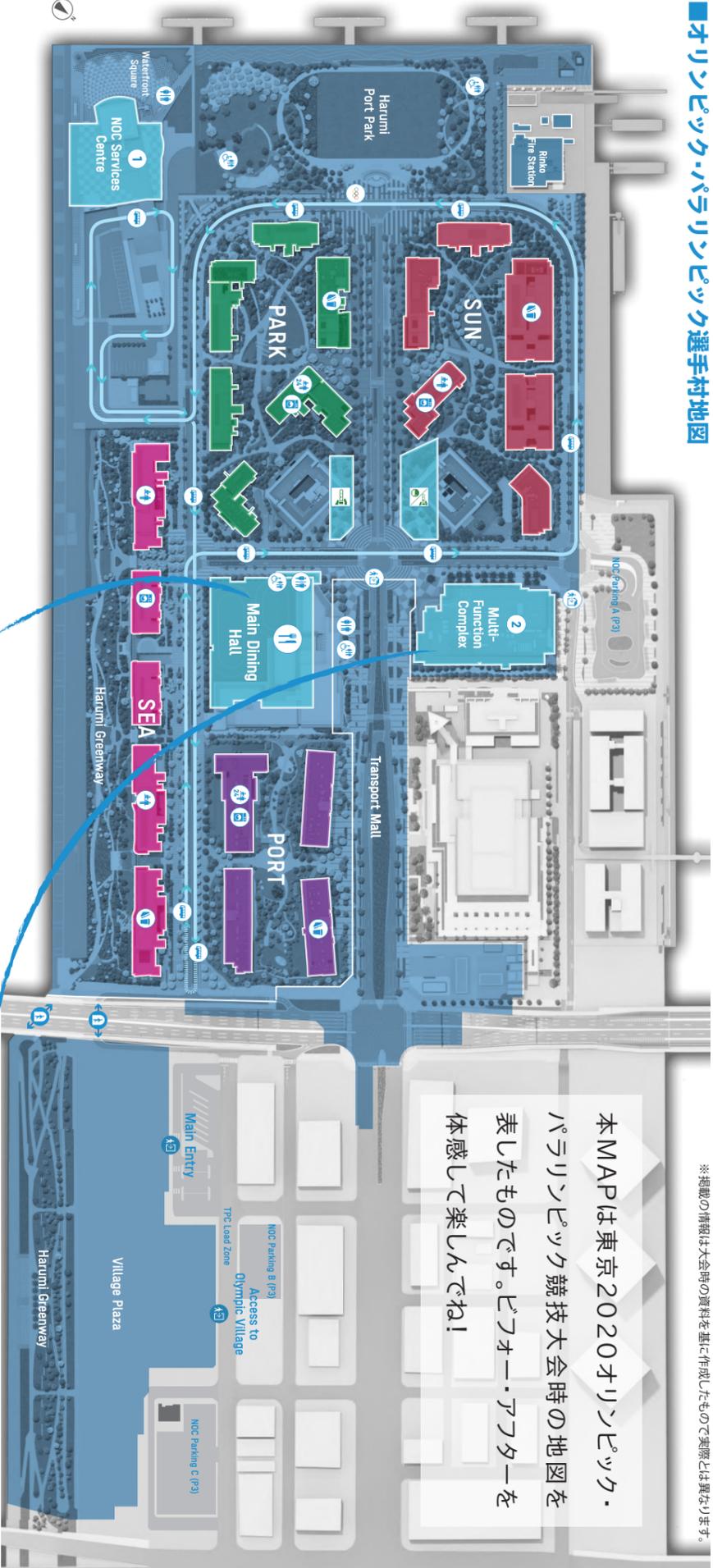
2019年 建物や基盤整備等工事の完了

(2019年12月撮影)

晴海5丁目はもともと、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において選手村として活用されていた場所でした。本ツールは大会当時の記憶を継承するレガシーを紹介するMAPとして作成しました。本MAPを片手に当時の記憶を探しに出かけましょう！



オリンピック・パラリンピック選手村地図



本MAPは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会時の地図を表したものです。ピンポイントで体感して楽しんでね！

※掲載の情報は大会時の資料を基に作成したもので実際とは異なります。

Operations

- ① Super Resident Centre (24 hours)
- ② Resident Centre (07:00-22:00)
- ③ Laundry Desk
- ④ Grab and go Stations
- ⑤ NOC Services Centre
- ⑥ Multi-Function Complex
- ⑦ 1st Floor : Sport Information Centre
- ⑧ 2nd Floor : Chiefs de Mission Hall, FA Desks, Front Desk
- ⑨ NOC/NPC Relations Offices, IOC NOC Relations Office
- ⑩ 2nd Floor : Sewing Room(Judo, Karate)
- ⑪ 4th Floor : Services Centre Meeting Room
- ⑫ Multi-Function Complex
- ⑬ 1st Floor : Polyclinic, Dooping Control Station
- ⑭ 2nd Floor : Recreation Centre, Casual Dining
- ⑮ 3rd Floor : Fitness Centre
- ⑯ Multi-faith Service Management Office

BEFORE Main Dining Hall▶▶▶
AFTER 晴海西小学校・晴海西中学校



現在の小中学校は、大会時は選手達のダイニングホールでした。和・洋・中からハラル認証を受けたものまで様々な種類の料理を提供しただけでなく、試合時間の都合で遅くに食事する選手たちにも夜間対応をしてきました。

BEFORE Multi-Function Complex▶▶▶
AFTER ミッドタウンからテラスHARUMI FLAG



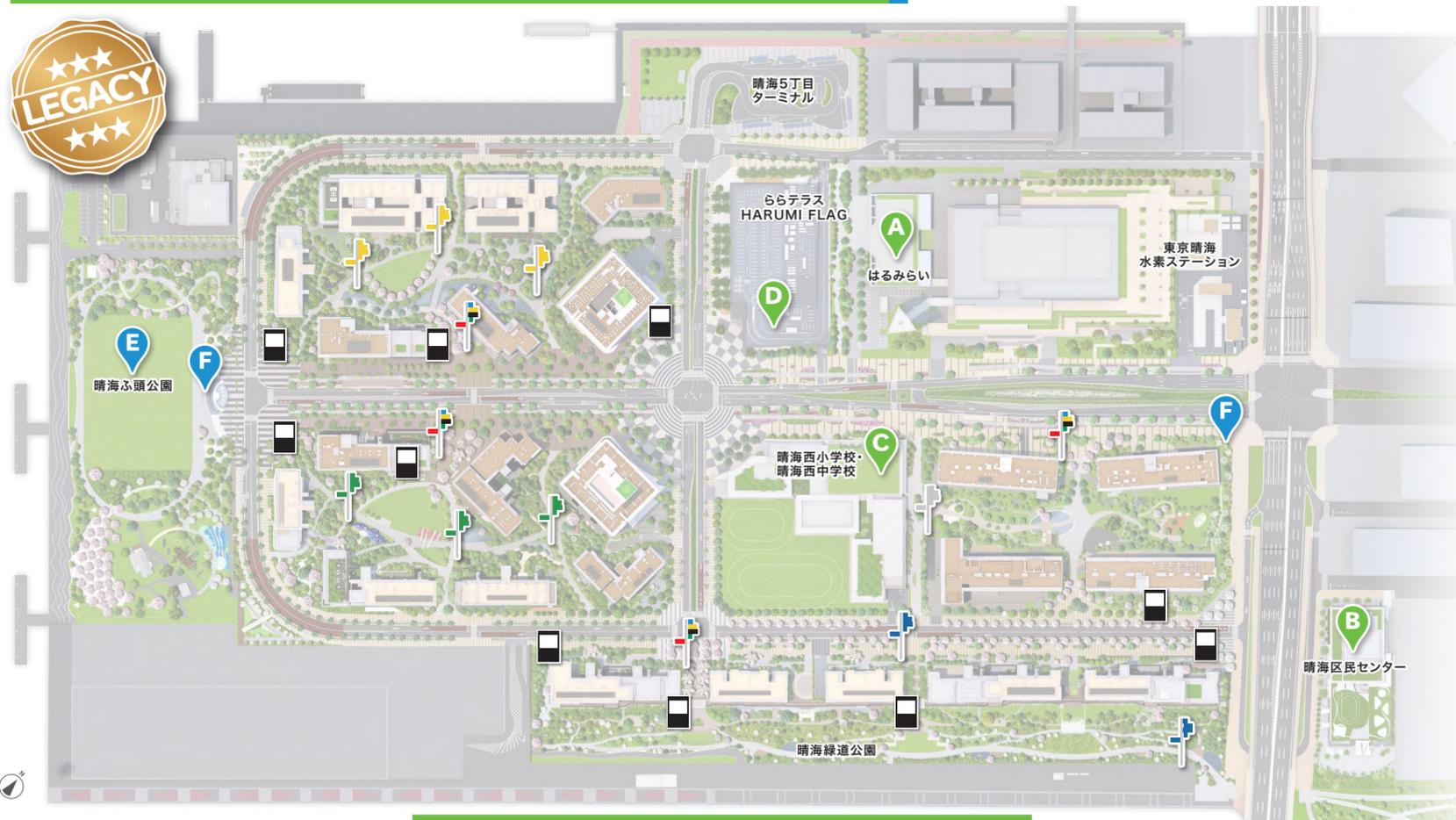
現在のららテラスは、選手のトレーニングルームやメディアカクセルセンター、軽食コーナーやレクリエーションコーナーなど、コンテンツを整える様々な施設がありました。

LEGACY MAP



凡例

- モノUMENT 矢羽根サイン
- 矢羽根サイン
- 案内板



大会の姿を伝えるレガシー

E 晴海ふ頭公園

選手たちがコンディショニングに活用した晴海ふ頭公園は機能を再整備・リニューアルしてオープン。多目的の広場をはじめ、カフェやコワーキングスペースを持つコネクタールミもでき、夏はバーベキューを楽しむことができます。この公園にも、大会当時の銘板やビレッジプラザの木を使ったベンチやパーゴラがあり、レガシーが息づいています。

F モニュメント

街の入り口と晴海ふ頭公園の噴水広場には、ここがオリンピックの選手村だった記憶を継承するモニュメントが大会時の姿そのままに遺されており、当時の選手達が見ていた景色を感じることができます。

オリンピックの感動を伝えるレガシー

A 晴海地域交流センター「はるみらい」

大会時に選手村で選手・大会関係者から多数のサイン等書き込みがされた折り鶴オブジェや、日本選手のサインパネル、日本選手団メダリストのサイン入りTシャツが展示されています。

C 晴海西小学校・晴海西中学校

1階メモリアルスペースにはビレッジプラザの内観イメージをベースとしたオブジェを配置。学校の児童・生徒たちに選手村村長・副村長からメッセージを贈呈。また、中学校のエントランスには、選手たちが平和への祈りを込めてサインした「休戦ムラール」、共生社会実現への願いを込めてサインした「パラリンピックムラール」が展示されています。 ※一般開放は行っていません。

B 晴海区民センター

2階にはビレッジプラザの模型などの展示、また図書館にはビレッジプラザの木材をレガシーとして再利用したホルダーや選手たちが平和への祈りを込めてサインした「休戦ムラール」が展示されています。

矢羽根サイン

矢羽根サインは大会時の意匠をそのまま残したものと、ポールのみ残り案内サインは現状に則して改修した2種類が設置されています。前者は五輪カラーをベースに当時の施設案内を示したレガシーとしており、後者は各街区のキーカラーを活かして作られています。

案内板

街中に設置されている案内板ですが、裏側には大会時のMAPを掲載しております。現在と当時の姿を見比べてみたり、選手たちがどのような生活していたかなど想像してみてもいいでしょう。

D TEAM JAPAN 2020 VILLAGE / CENTRALE

ららテラスの1階にはJOCと三井不動産レジデンシャルがコラボで実現したJOCカフェが運営中。スポーツのすばらしさを体感できるように様々な展示品や映像コンテンツを配信中。大会時にふるまわれていたGAP認定食材を使ったメニューを提供中。あなたも当時の気分を感じてみてはいかがでしょうか。